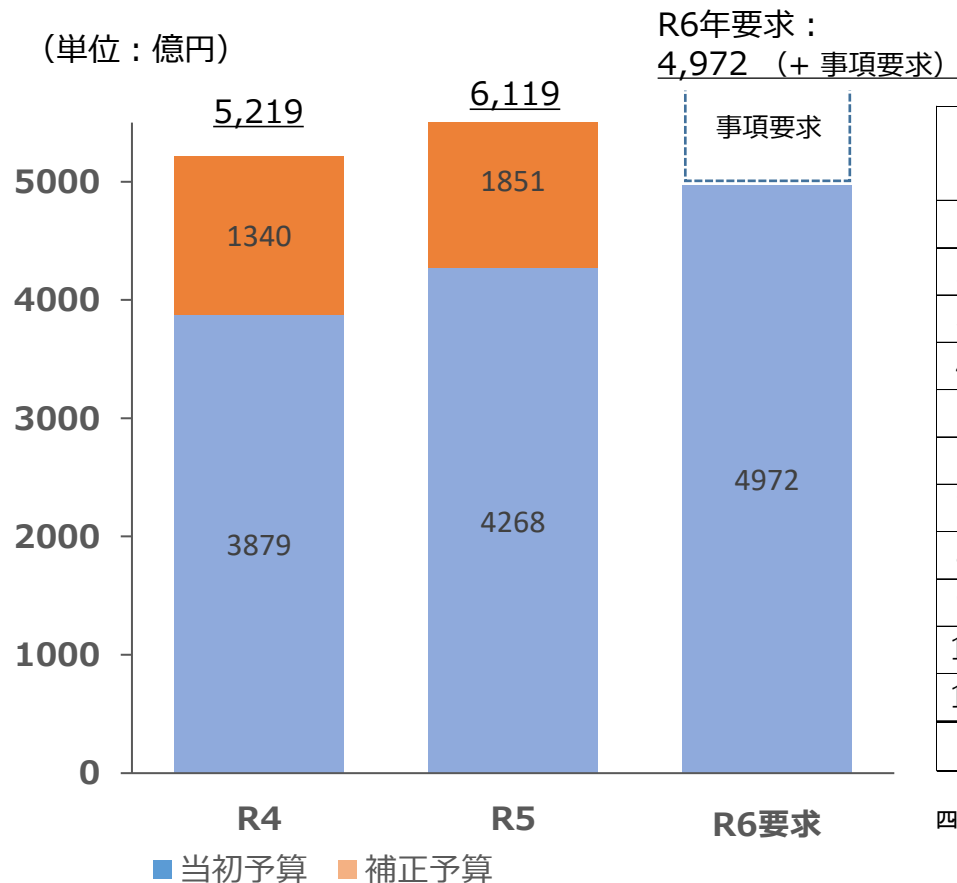


令和6年度予算概算要求における宇宙関係予算

令和6年度予算概算要求	4,972 億円 (+ 事項要求)
(令和5年度当初予算	4,268 億円)
(令和5年度当初予算 + 令和4年度補正予算	6,119 億円)



府省名	前年度計	R4補正	R5当初	R6要求	
					対前年当初
1. 内閣官房	800	175	625	755	+21%
2. 内閣府	391	190	201	254	+26%
3. 警察庁	9	-	9	9	0
4. 総務省	193	97	96	160	+67%
5. 外務省	3	-	3	3	0
6. 文部科学省	2,166	639	1,527	2,033	+33%
7. 農林水産省	102	68	34	72	+111%
8. 経済産業省	211	-	211	217	+3%
9. 国土交通省	878	662	216	187	-13%
10. 環境省	87	20	67	73	+9%
11. 防衛省	1,278	-	1,278	1,210	-6%
合計	6,119	1,851	4,268	4,972	+17%

四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

主な概算要求項目（各府省別）

全府省庁合計：4,972億円（+事項要求）

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	<u>755億円</u>	【農林水産省】	<u>72億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	755億円	● 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化	21億円
【内閣府】	<u>254億円</u> （+事項要求）	● 地理情報共通管理システム（eMAFF地図）の開発	23億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	217億円（+事項要求）	【経済産業省】	<u>217億円</u>
● 小型衛星コンステレーションの構築など 宇宙開発利用の促進	15億円（+事項要求）	● 小型衛星等の競争力強化に向けた研究開発	22億円
● 中央防災無線網の運用等	3億円	● マイクロ波無線電力伝送による 宇宙太陽光発電システムの開発	4億円
【警察庁】	<u>9億円</u>	● 無人自動運転、水素関連技術等の研究開発	172億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9億円	【国土交通省】	<u>187億円</u> （+事項要求）
【総務省】	<u>160億円</u>	● 準天頂衛星システムを利用した 衛星航法サービスの高度化	10億円
● 10Gbps級の高速光通信技術の開発	320億円の内数	● 人工衛星の測量分野への利活用	27億円（+事項要求）
● 衛星量子暗号通信技術の研究開発	15億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	25億円
● 次期静止気象衛星に搭載する計測装置の開発	4億円	● 次期静止気象衛星の整備等	（事項要求）
【外務省】	<u>3億円</u>		
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	【環境省】	<u>73億円</u>
【文部科学省】	<u>2,033億円</u> （+事項要求）	● GOSATシリーズによる地球観測事業等	52億円
● H3ロケットの開発・高度化	157億円（+事項要求）	【防衛省】	<u>1,210億円</u>
● イプシロンSロケットの開発	35億円（+事項要求）	● 宇宙領域把握（SDA）衛星の整備等	125億円
● 将来宇宙輸送システムロードマップ実現 に向けた研究開発	48億円	● 画像解析用データの取得	243億円
● 温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）	119億円	● 衛星通信システムの抗たん性向上	74億円
● 衛星コンステレーション関連技術開発	31億円		
● アルテミス計画に向けた研究開発等	398億円		
● うち有人と圧ローバ開発のフロントローディング	40億円		
● うち火星衛星探査計画（MMX）	180億円		
● 深宇宙探査実証機（DESTINY+）	35億円		

※ また、内閣府、総務省、文科省、経産省の4府省でJAXAの戦略的かつ弾力的な資金供給機能の強化に向けた関連施策（合計101億円）を要求。